

防災研修カリキュラム

このカリキュラムは、過去に当地域をおそった災害を教訓とし、今後発生が予想される宮城県沖地震をはじめとした各種災害から身を守る資質と、児童生徒への防災教育実施にあたり必要となる見識を身につけることを目的として、教職員の防災研修等実施時におけるカリキュラムの一例として「みやぎ防災教育基本指針」を踏まえ、編纂するものです。

STEP 4: 実践的防災対策のための知識習得

- ・ 「防災リーダー」としての意識・活動
- ・ 積極的防災対策 (発展型防災教育)

STEP 3: 被害軽減のための知識習得と活動

- ・ 身の回りの危険の認識・把握
- ・ 被害を減らす対策について

STEP 2: 災害対応の知識習得とイメージ化

- ・ 災害後の生活のイメージ化
- ・ 「自助」・「共助」・「公助」について

STEP 1: 災害の知識習得とイメージ化

- ・ 必要最低限の防災知識の習得
- ・ 災害発生時における対応・方法

気仙沼市防災教育推進委員会

(平成21～22年度 防災教育支援事業)

はじめに

みやぎ防災教育基本指針では、児童生徒に対し以下の「防災対応能力」を身につけさせることが提唱されています。

防災対応能力

〔参照：みやぎ防災教育基本指針〕

「自らの身を守り、乗り切る能力」

- ・災害時に自らの身を守り、乗り切る能力

「知識を備え、行動する能力」

- ・地域や社会の特性、防災に関する知識を活用し防災・減災のために事前に備え、行動する力

「地域の安全に貢献する能力」

- ・地域の歴史や自然環境、防災体制や災害の発生メカニズム等について理解し、地域の一員として防災・減災活動に貢献する力

「安全な社会に立て直す能力」

- ・被災時には、地域のために活動するとともに、互いに助け合い、協力して安全な社会に立て直す力

そこで、まず防災教育を実践する教職員がその資質を身につけなければなりません。限られた研修時間という条件もあり、全てを習得することは困難なことから、段階に応じた研修内容を設定しています。

防災教育担当者だけでなく様々な教科の教職員、また新規採用教職員や内陸部から異動してきた教職員の研修時にも活用いただくことを期待しています。

内容については、山間部の学校や沿岸から離れた学校では津波に特化するより地震・大雨・土砂災害などに重きをおかれても結構ですが、昭和58年日本海中部地震津波において、山間部から遠足に来た小学生が犠牲となった被災事例もありますことから、過去の被害及び想定宮城県沖地震とそれに伴う津波に関する最低限の知識の習得は必須と考えます。

資料に関しては、気仙沼市ホームページの防災関連に掲載してある「気仙沼津波フィールドミュージアム」の活用のほか、テキストや各種資料DVDを用意してありますし、研修時の職員派遣も可能ですので、必要に応じて市の防災担当部署にご相談下さい。

STEP 1: 災害の知識習得とイメージ化

目的

- ・災害発生のメカニズムの理解(災害の特徴や危険性の理解)
- ・危険回避・避難行動の学習(自主判断,身の守り方,避難行動)

・必要最低限の防災知識の習得

項目	具体内容	参照教材等
災害の教訓	・最近の災害や過去に宮城県で発生した災害等を例に,被害を紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・写真 ・地震発生の模型 ・津波発生の模型 ・防災マップ ・シミュレーション ・資料DVD (映像,シミュレーション)
過去に当地域を襲った災害・被害	<ul style="list-style-type: none"> ・明治三陸地震津波(明治29年) ・昭和三陸地震津波(昭和8年) ・チリ地震津波(昭和35年) ・宮城県沖地震(昭和53年) ・三陸南地震(仮称)(平成15年) ・チリ地震津波(平成22年) 	
災害の発生の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・海溝型地震 ・内陸型地震 ・宮城県沖地震(アスペリティ) ・津波・土砂災害・洪水 	
発生が想定されている災害・被害	<ul style="list-style-type: none"> ・地震ハザードマップ(想定震度) ・防災マップ(津波想定浸水域) ・防災マップ(洪水想定浸水域) ・津波シミュレーション(画像,映像) 安全マップと捉えないように	

過去に当地域を襲った災害・被害
発生が想定されている被害・被害

・津波フィールドミュージアム

[事前学習,現地学習,事後学習(デジタル防災マップ)]

・災害発生時の身の守り方

項目	具体内容	参照教材等
地震発生時の身の守り方(自分)	<ul style="list-style-type: none"> ・頭部の保護,落下物への注意 ・緊急地震速報:車の停止 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・映像 (緊急地震速報)
地震発生時の身の守り方(指示)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報(机,カーテン,ドア) ・登下校時(ランドセル,ブロック塀,自動販売機,道路,落下物) 	
避難について(避難場所・避難所)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所と避難所の違い ・地震,津波,洪水,土砂災害 	
避難情報について	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線(サイレン) ・テレビ,ラジオ,電子メール,緊急地震速報 	

STEP 2 : 災害対応の知識習得とイメージ化

目的

- ・自己の安全確保(自らの判断での危険回避と共に二次災害の防止)
- ・災害への備え(減災対策に取り組むための, 想定される被害の理解)
- ・災害時の対応(自主判断, 身の守り方, 避難行動)
- ・地域の防災体制の理解(地域や行政の災害時の対応についての理解)

・ 災害後の生活のイメージ化

項目	具 体 内 容	参照教材等
被害の状況	・ 寝室, 台所, 家屋 ・ 事務室,	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト ・ シミュレーション ・ 資料DVD (映像)
被害の状況(ライフライン)	・ ガス, 水道, 電気, 電話 ・ 橋, 道路, 液状化	
被害の状況(シミュレーション)	・ 津波による被害 (浸水, 漂流物, 堆砂)	
避難生活	・ 避難所生活(体育館, 食事, 部屋) ・ 応急危険度判定	

・ 「自助」・「共助」・「公助」について

項目	具 体 内 容	参照教材等
「自助」「共助」「公助」について	・ 言葉自体の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキスト ・ 写真 (ビクター展示)
公助について(行政による対応)	・ 避難所開設(学校, 公民館) ・ 行政機関による早期対応の限界	
共助について(隣近所の助け合い)	・ 阪神・淡路大震災時の救助の状況 ・ 自主防災組織 ・ 災害時要援護者 ・ 災害ボランティアセンター	
自助について (自分自身・家族を守ること)	・ 日頃の備え(備蓄) ・ 防災訓練・消火訓練	

STEP 3: 被害軽減のための知識習得と活動

目的

- ・災害への備え(家の中,地域内での被害軽減・防止対策の理解)
(建物の耐震性や補強方法に付いての理解)

・身の回りの危険の認識・把握

項目	具体内容	参照教材等
身の回りの危険性の認識	・教室,学校内,学区内 ・寝室,部屋	・テキスト ・白地図
危険性の再認識	・ワークショップ ・防災マップの作成	・防災マップ

・被害を減らす対策について

項目	具体内容	参照教材等
減災対策 (寝室,部屋)	・家具の固定 ・窓ガラス飛散防止 ・配置(離す,重い物は下に)	・テキスト ・わが家の 防災マップ
減災対策 (わが家の防災会議)	・危険箇所の確認 ・避難先の確認 ・連絡の取り方	・紙ぶるる ・簡易耐震診断 計算表
減災対策 (備蓄)	・避難リュック(時局的余裕ができる) ・飲料水(持ち運びと家庭用の違い)	
減災対策 (耐震補強)	・耐震補強の重要性 ・簡易耐震診断(計算)	

STEP 4 : 実践的防災対策のための知識習得

目的

- ・地域の防災体制の理解(発信される情報についての理解)
- ・地域防災への参加(自らに可能な災害時の活動について理解)
- ・生活環境の安全化(応急処置等の技術習得)
- ・リーダー性の育成(他の人々への安全配慮, 奉仕活動・生命尊重の大切さの理解)

・「防災リーダー」としての意識・活動

項目	具 体 内 容	参照教材等
防災情報について	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の予警報について ・災害情報について(テレビ, ラジオ, メール, 緊急地震速報, GPS 波浪計) ・土砂災害警戒情報 ・洪水(警戒水位, 危険水位) ・避難準備情報, 避難勧告, 避難指示 ・行政からの情報(防災無線サイレン) ・災害と流言 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・ワークショップのやり方 ・クロスロードのやり方 ・図上訓練のやり方
災害情報の共有と防災意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ ・防災マップ 	
防災意識の高揚のために	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスロード(判断訓練) ・図上訓練 	
実際の災害に備えて	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当講習 ・救急救命講習 ・A E D 講習 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署, 日赤による講習

・積極的防災対策(発展型防災教育)

項目	具 体 内 容	参照教材等
防災教育の事例紹介と展開	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の事例紹介(総合防災訓練, キャップハンディ体験, 防災キャンプ, 登下校時の訓練) ・意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト ・サバメシ資料 ・地震防災カルタ
楽しみながらの防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・サバメシ(サバイバル飯炊)の実施 ・簡易たんかの作成 ・人力搬送 ・地震防災カルタ 	